

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科	
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	本田和也			学位授与の方針 との関連	DP1(2) DP2(2) DP3(5)		
授業概要	主に特別支援教育・保育において、自らが問題意識を持つ課題について、研究テーマを立て、科学的な知識や論拠を明らかにしながら仮説を基に検討していく。自ら、計画的、長期的に進めるとともに、ゼミ形式で相互に報告したり協議したり、評価し合ったりすることを通して論文作成を展開していく。						
関連する科目	子ども教育専門ゼミ I を履修しておく						
授業の進め方と方法	大学教育の学びのまとめとして、学生は専特別支援教育・保育の分野に応じた研究テーマを設定し、卒業論文としてまとめていく。各自興味関心のあるテーマを学問的な問題意識および課題へと発展させていくよう指導するとともに、文献や資料の紹介、研究テーマの設定の仕方、論文の書き方など技術的な面も指導しながら卒業研究の完成へと導いていく。						
授業計画	第1回:オリエンテーション 第2回:各自の問題意識の確認と卒業研究の進め方 第3回:卒業研究テーマ設定(1) 第4回:卒業研究テーマ設定(2) 第5回:各自の論文テーマに沿った研究計画作成(1) 第6回:各自の論文テーマに沿った研究計画作成(2) 第7回:個別指導(1)(先行研究レビュー、資料収集、資料分析等について) 第8回:個別指導(2) 第9回:個別指導(3) 第10回:個別指導(4) 第11回:個別指導(5) 第12回:個別指導(6) 第13回:個別指導(7) 第14回:個別指導(8) 第15回:中間報告会(1) 第16回:中間報告会(2) 第17回:中間報告会での意見を踏まえ、研究計画の修正 第18回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(1) 第19回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(2) 第20回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(3) 第21回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(4) 第22回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(5) 第23回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(6) 第24回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(7) 第25回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(8) 第26回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(9) 第27回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(10) 第28回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(11) 第29回:卒業論文発表会(1) 第30回:卒業論文発表会(2)						
授業の到達目標	大学教育の総まとめとして、自らの問題意識に基づいて設定した研究テーマについて研究を進め、卒業論文を完成させることができる。						
授業時間外の学修	研究テーマについては常にアンテナを張り、関連する情報収集に努め、コツコツと執筆を進めること。						
課題に対するフィードバック	提出課題は、授業時間に評価・解説を行う。	評価方法			論文 60点 プレゼンテーション 40点		
テキスト	必要に応じて資料等を配布する。						
参考書	卒業論文作成に当たっては、各自で文献等を収集すること						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	○
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	宮内 孝			学位授与の方針 との関連			
授業概要	この授業は、大学教育の総まとめとして、学生は専門の学問分野に応じた研究課題を設定し、卒業論文としてまとめることを目的としています。 各学生の問題関心を学問的な問題意識へと発展させていくよう指導するとともに、文献や資料の紹介、解説の仕方、論文の書き方など技術的な面も指導しながら卒業研究の完成へと導きます。						
関連する科目	子ども教育専門ゼミⅠ・Ⅱ						
授業の進め方と方法	テーマにそって、討論をしたり実技をしたりしながら、主体的に課題解決に取り組むようにします。また、個別指導も取り入れて卒業研究への取り組みが円滑にすすむように支援します。						
授業計画	<p>第1回:オリエンテーション</p> <p>第2回:各自の問題意識の確認と卒業研究の進め方 グループワーク</p> <p>第3回:卒業研究のテーマ設定(1) グループワーク</p> <p>第4回:卒業研究のテーマ設定(2) グループワーク</p> <p>第5回:各自の論文テーマに沿っての研究計画作成(1)</p> <p>第6回:各自の論文テーマに沿っての研究計画作成(2)</p> <p>卒業研究の計画を設定するとともに、完成までの見通しをもちます。</p> <p>第7回:個別指導(1)(先行研究レビュー、資料収集、資料分析等について)</p> <p>第8回:個別指導(2)</p> <p>第9回:個別指導(3)</p> <p>第10回:個別指導(4)</p> <p>第11回:個別指導(5)</p> <p>第12回:個別指導(6)</p> <p>第13回:個別指導(7)</p> <p>第14回:個別指導(8)</p> <p>第15回:中間報告会(1) グループワーク</p> <p>第16回:中間報告会(2) グループワーク</p> <p>第17回:中間報告会での意見を踏まえ、研究計画の修正 個別指導も行って、中間発表ができるようにします。</p> <p>第18回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(1)</p> <p>第19回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(2)</p> <p>第20回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(3)</p> <p>第21回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(4)</p> <p>第22回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(5)</p> <p>第23回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(6)</p> <p>第24回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(7)</p> <p>第25回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(8)</p> <p>第26回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(9)</p> <p>第27回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(10)</p> <p>第28回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(11)</p> <p>第29回:卒業論文発表会(1) , 第30回:卒業論文発表会(2)</p>						
授業の到達目標	<p>1. 4年間の学習の集大成として、自らの関心に沿って設定した研究テーマについて卒業論文を完成させ、プレゼンテーションができる。</p> <p>2. 卒業論文に取り組む過程で、子どもの身体や運動にかかわる諸問題について考察を深める。</p>						
授業時間外の学修	授業前には、各自の卒業研究に取り組むための文献・先行実践についてレジュメ・発表のためのプレゼンを作成します。授業後は、自己の学びをレポートにまとめます。						
課題に対する フィードバック	提出課題は、授業時間に評価・解説を行います。	評価方法		論文 60点 プレゼンテーション 40点			
テキスト	必要に応じて資料を配付します。						
参考書	卒業論文作成にあたっては、各自文献を収集する必要があります。						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	遠藤 晃			学位授与の方針 との関連			
授業概要	<p>大学教育の総まとめとして、学生は専門の学問分野に応じた研究課題を設定し、卒業論文としてまとめていく。各学生の問題関心を学問的な問題意識へと発展させていくよう指導するとともに、文献や資料の紹介、解読の仕方、論文の書き方など技術的な面も指導しながら卒業研究の完成へと導いていく。</p>						
関連する科目	子ども教育専門ゼミIIを並行して行う						
授業の進め方と方法	各自のテーマに沿って、データを収集し、卒業研究をまとめる。						
授業計画	<p>第1回:オリエンテーション 第2回:各自の問題意識の確認と卒業研究の進め方 第3回:卒業研究のテーマ設定(1) 第4回:卒業研究のテーマ設定(2) 第5回:各自の論文テーマに沿っての研究計画作成(1) 第6回:各自の論文テーマに沿っての研究計画作成(2) 第7回:個別指導(1)(先行研究レビュー、資料収集、資料分析等について) 第8回:個別指導(2) 第9回:個別指導(3) 第10回:個別指導(4) 第11回:個別指導(5) 第12回:個別指導(6) 第13回:個別指導(7) 第14回:個別指導(8) 第15回:中間報告会(1) 第16回:中間報告会(2) 第17回:中間報告会での意見を踏まえ、研究計画の修正 第18回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(1) 第19回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(2) 第20回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(3) 第21回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(4) 第22回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(5) 第23回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(6) 第24回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(7) 第25回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(8) 第26回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(9) 第27回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(10) 第28回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(11) 第29回:卒業論文発表会(1)、第30回:卒業論文発表会(2)</p>						
授業の到達目標	<p>1. 4年間の学習の集大成として、自らの関心に沿って設定した研究テーマについて卒業論文を完成させる。 2. 卒業論文に取り組む過程で、子どもの発達にかかわる諸問題について考察を深める。</p>						
授業時間外の学修	<p>毎回の講義終了後に、講義内容を振り返り、内容に関連して自分が考えたことをまとめ、文章として表現するレポートを課す(1時間程度)。また、終了時に提示される課題について、次回の講義までに準備をしていく(1時間程度)。課題については担当教員に随時相談すること。</p>						
課題に対するフィードバック	課題については、ゼミの中で解説する。			評価方法	卒論への取り組み、論文内容により総合的に評価する。		
テキスト	各自のテーマに応じて適したテキストを使用する						
参考書	卒業論文作成にあたっては、各自文献を収集する必要がある。						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科		子ども教育学科	
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	若宮 邦彦			学位授与の方針 との関連			
授業概要	本授業はゼミ生各自が研究する目標や具体的なテーマを定め、その関心を学問的な問題意識へと発展させるために、先行研究や文献を紹介、解説方法を学ぶことを目的とします。【知識・理論の修得】また、フィールドワークを行ったり、インタビュー調査を行い、大学での学びの総括としての卒業研究を目指します。【生涯学習力の育成】						
関連する科目	子ども教育専門ゼミⅠ、Ⅱの履修が望ましい。						
授業の進め方と方法	アクティブラーニング型授業を展開します。1回の授業の構成は下記の通りです。前半では学生自身が子ども教育専門ゼミⅠ、Ⅱで学んだテーマについて、より深く考察するための探究能力を高めます。【知識・理論の修得】また、中盤から後半では論文執筆のための研究手法を学びフィールドワークを通じ、理論知を実践知に関連付けながら理解します。【姿勢・志向性の育成】						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 研究テーマの設定と先行研究・文献検索 2. 先行研究・文献の内容の報告 3. 各自のテーマに関する検討会 4. 研究のプランニングとスケジュール表の作成 5. 研究についての個別指導① 6. 研究についての個別指導② 7. 研究についての個別指導③ 8. 研究についての個別指導④ 9. 研究についての個別指導⑤ 10. 研究方法の検討と進捗状況の確認 11. 研究に関連する社会資源の発見および報告 12. 各自による中間報告・文献研究のまとめ① 13. 各自による中間報告・文献研究のまとめ② 14. 各自による中間報告・文献研究のまとめ③ 15. 研究計画の修正及び検討 16. 研究の進捗状況報告・個別指導① 17. 研究の進捗状況報告・個別指導② 18. 研究の進捗状況報告・個別指導③ 19. 研究の進捗状況報告・個別指導④ 20. 研究の進捗状況報告・個別指導⑤ 21. 研究の進捗状況報告・個別指導⑥ 22. 研究の進捗状況報告・個別指導⑦ 23. 研究の進捗状況報告・個別指導⑧ 24. 研究の進捗状況報告・個別指導⑨ 25. 研究の進捗状況報告・個別指導⑩ 26. 進捗状況の確認とスケジュールの確認 27. プレゼンテーション方法の検討と決定① 28. プレゼンテーション方法の検討と決定② 29. 卒業論文発表会① 30. 卒業論文発表会② 						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学生の問題意識について能動的、科目横断的な学習能力を習得する。社会福祉学を主とした学術的思考過程をふまえてリテラシー能力の向上。【職業知識・技能の育成】 2. 児童福祉に関する現代的課題について自らの問題意識を明確化するとともに問題等の現状分析・検討を行い卒業研究を完成させる。【姿勢・志向性の育成】 						
授業時間外の学修	各自が研究する目標や具体的なテーマを定め、大学での学びの総括としての卒業研究を目指すために、ゼミ生間でのサブ・ゼミを指導毎に20分程度実施する。						
課題に対するフィードバック	レポート、プレゼンテーションは評価後、返却及び解説をします。	評価方法		学習意欲30点、卒業研究レポート提出50点、ワークショップ等20点			
テキスト	なし						
参考書	『よくわかる卒論の書き方』第2版 白井利明・高橋一郎編著 ミネルヴァ書房						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	早川 純子			学位授与の方針 との関連			
授業概要	<p>大学教育の総仕上げとして、卒業論文の作成を目的とする。 まず、「子ども教育専門ゼミ」「子ども教育専門ゼミII」を通して、自らの関心領域に基づいて設定した研究テーマについて具体的な研究計画を立てる。次に、関連文献、資料の収集、先行研究の整理、各自のテーマについての現状調査(フィールドワーク等)などの作業を通じて論文をまとめていく。教員による個別指導とともに、「子ども教育専門ゼミII」での討議を重ねて、研究内容を吟味し論文を完成させる。</p>						
関連する科目	各学年で開講されるゼミを履修し、並行して「子ども教育ゼミ I I」を受講すること。						
授業の進め方と方法	個々で異なるテーマを取り扱うため、基本的にマンツーマンでの指導を行う。						
授業計画	第1回: 研究計画 第2回: 先行研究との位置づけ 第3回: 引用の方法と情報倫理の確認 第4回: 先行文献研究① 第5回: 先行文献研究② 第6回: 先行文献研究③ 第7回: 先行文献研究④ 第8回: 先行文献研究⑤ 第9回: 先行文献研究⑥ 第10回: 先行文献研究⑦ 第11回: 先行文献研究⑧ 第12回: 先行文献研究⑨ 第13回: 先行文献研究⑩ 第14回: 実地調査あるいは研究実践計画① 第15回: 実地調査あるいは研究実践計画② 第16回: 実地調査あるいは研究実践① 第17回: 実地調査あるいは研究実践② 第18回: 実地調査あるいは研究実践③ 第19回: 実地調査あるいは研究実践④ 第20回: 実地調査あるいは研究実践⑤ 第21回: 実地調査あるいは研究実践⑥ 第22回: 実地調査あるいは研究実践⑦ 第23回: 実地調査あるいは研究実践⑧ 第24回: 調査・実践内容の考察① 第25回: 調査・実践内容の考察② 第26回: 文献研究と実践研究の整合化① 第27回: 文献研究と実践研究の整合化② 第28回: 論文形式の確認 第29回: 執筆内容全体の確認① 第30回: 執筆内容全体の確認②						
授業の到達目標	大学教育の集大成として、自らの問題意識に基づいて設定したテーマについて研究を進め、卒業論文を完成させる。						
授業時間外の学修	卒業研究のテーマについては常にアンテナを張り、関連する情報収集に努め、コツコツと執筆を進めること。						
課題に対する フィードバック	提出課題は、授業時間に評価・解説を行う。	評価方法			卒業研究への取り組みと、論文内容により総合的に評価する。 (学修意欲態度20%、卒業研究論文80%)		
テキスト	教員の指導のもと、テーマに応じた文献を各自で収集する。						
参考書	随時提示する。						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○	
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	園田 博一			学位授与の方針 との関連	DP1,2,3		
授業概要	卒業研究は、個々の課題研究であるが、方法や課題をゼミ生で共有し、情報の意見交換などお互いに協力し合う。先行研究・資料収集と整理、研究計画を検討し、スキルを高めていく。研究内容は、経験したことを研究対象とする。教育現場に関わりの深い内容を選択し、美術教育との関連を図りながら卒業制作・論文に仕上げる。発表の形式は、制作(作品)と論文に著す。研究課題は個々の裁量に負うが、これまでのゼミの活動から培われたものを最大限に生かす。テーマ設定後は制作研究と文献研究を進めて理論的背景を構築していく。制作研究では試作を繰り返しながらスキルを高めていく。						
関連する科目	教科教育法(図画工作)、保育内容指導法(造形表現)、図画工作演習、子どもと手作り遊び						
授業の進め方と方法	専門ゼミⅠ及びⅡの内容を踏まえ学習を進める。研究の目的や方法 については専門ゼミⅠから進めている。文研研究による理論的研究を学習していく。子どもの発達段階と造形表現とをいろいろな角度から検討していく。ものづくりの意味や制作方法を考えていく。各自のテーマに沿った、文献研究、資料収集を行い、ものづくりの背景や意味や歴史も研究の対象とする。絵画、立体、工作、デザイン等の制作実践を通して研究の深化を図る。						
授業計画	第1回 :オリエンテーション 自己紹介 卒業研究計画の確認 第2回 :研究計画の検討と修正(1) 第3回 :研究計画の検討と修正(2) 第4回 :先行研究の情報収集と分析(1) 第5回 :先行研究の情報収集と分析(2) 第6回 :研究構想に沿った研究推進 個別指導(1) 第7回 :研究構想に沿った研究推進 個別指導(2) 第8回 :研究構想に沿った研究推進 個別指導(3) 第9回 :研究構想に沿った研究推進 個別指導(4) 第10回 :研究構想に沿った研究推進 個別指導(5) 第11回 :研究構想に沿った研究推進 個別指導(6) 第12回 :卒業研究の中間報告(1) 第13回 :卒業研究の中間報告(2) 第14回 :後期の研究計画について 第15回 :前期のまとめ 第16回 :後期の個人研究計画の確認(1) 第17回 :後期の個人研究計画の確認(2) 第18回 :研究構想に沿った研究推進 個別指導(1) 第19回 :研究構想に沿った研究推進 個別指導(2) 第20回 :研究構想に沿った研究推進 個別指導(3) 第21回 :研究構想に沿った研究推進 個別指導(4) 第22回 :研究構想に沿った研究推進 個別指導(5) 第23回 :研究構想に沿った研究推進 個別指導(6) 第24回 :卒業研究のまとめ(1) 第25回 :卒業研究のまとめ(2) 第26回 :卒業研究発表の準備(1) 第27回 :卒業研究発表の準備(2) 第28回 :卒業研究発表の準備(3) 第29回 :卒業研究発表の準備(4) 第30回 :卒業研究の総括						
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・研究に対する積極性があり、主体的に参加する。 ・課題を発表、討論することで学習を共有する。 ・卒業研究に向けての研究構想を具体的に作成し、計画を推し進める。 						
授業時間外の学修	<ul style="list-style-type: none"> ・学外においても様々な機会をとらえて子どもとの接点を作る。 ・制作研究では試行錯誤を繰り返し実践的に行う。 ・資料収集や文献研究を日常的に実践する。 						
課題に対する フィードバック	専門性や社会性、客観性を注視し、助言を行う。	評価方法			課題に対する取り組み方、姿勢、課題の成果により総合的に判断する。		
テキスト	特になし						
参考書	参考文献、引用文献資料等、適宜紹介しながら研究推進する。						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○	
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	福富 隆志			学位授与の方針 との関連	学科DP1(1),2(1)(2),3(4)(5)		
授業概要	本ゼミでは、教育に関連する事象について、学生自身が関心や問題意識を持ち、自分の卒業研究として取り上げたい事柄を選択し、文献の収集・整理や内容の精査、研究計画の立案と実施報告、プレゼンテーションと全体での討論を繰り返しながら、研究を行うことの意義や研究を行う過程、論文作成に必要な知識や論文の書き方について学び、四年間の学びの集大成として卒業研究をまとめ上げることを目指す。						
関連する科目	子ども教育専門ゼミⅠを前年度に、子ども教育専門ゼミⅡを同年度に履修すること。						
授業の進め方と方法	1回の授業の基本的な構成は下記の通りである： 【前半】各自の考えをレポートやプレゼン等で表現し、議論を通して今後の展開に向けた見通しを掴む。 【後半】次回までの展開に必要な知識・技能について解説し、習熟への見通しを掴む。						
授業計画	第1回：オリエンテーション 第2回：各自の課題意識の明確化と研究課題の設定 第3回：各自の研究課題の報告及び検討 第4回：卒業研究の行程表の作成 第5回：卒業研究の行程表の報告及び検討 第6回：研究論文の構成と読み方 第7回：研究の進め方と研究計画の立案 第8回：各自の研究計画(問題・目的)の報告及び検討(1) 第9回：各自の研究計画(問題・目的)の報告及び検討(2) 第10回：各自の研究計画(方法)の報告及び検討(1) 第11回：各自の研究計画(方法)の報告及び検討(2) 第12回：各自の研究計画に基づく文献資料の報告及び検討(1) 第13回：各自の研究計画に基づく文献資料の報告及び検討(2) 第14回：各自の研究計画の修正及び検討(1) 第15回：各自の研究計画の修正及び検討(2) 第16回：研究計画の実施報告及び個別指導(1) 第17回：研究計画の実施報告及び個別指導(2) 第18回：研究計画の実施報告及び個別指導(3) 第19回：中間報告 第20回：研究計画の実施報告及び個別指導(4) 第21回：研究計画の実施報告及び個別指導(5) 第22回：研究計画の実施報告及び個別指導(6) 第23回：研究報告(1) 第24回：研究報告(2) 第25回：プレゼンテーション方法の報告及び検討(1) 第26回：プレゼンテーション方法の報告及び検討(2) 第27回：ゼミ内でのプレゼンテーション(1) 第28回：ゼミ内でのプレゼンテーション(2) 第29回：卒業論文発表会(1) 第30回：卒業論文発表会(2)						
授業の到達目標	本ゼミでは、四年間の学びの集大成として、教育に関連する事象について、「心理学的観点から自分自身で研究を立案実施し、卒業論文としてまとめ上げることを目標とする。具体的には、「自分の興味関心」を具体的に絞り込み、関連する「過去の論文・書籍」を検索しながら、卒業研究で扱いたいテーマに関する「研究履歴」を整理し、各自の問題意識に基づいた「研究展開」「研究計画」を構想した上で、タイムスケジュールを意識しながら実施し、研究結果を適切に整理しながら、研究論文としての体裁を踏まえた適切な論文作成が出来るようになることを目標とする。						
授業時間外の学修	【予習】指定した教科書から次回の発表範囲を事前に熟読し、次回の発表内容の概略を把握すると同時に、授業内で必要となる資料作成を行うこと(1.5時間) 【復習】授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理すること(1時間)、また授業終了時に示す課題に取り組み、必要な資料作成を行ったり、授業中に議論した内容に関して自分なりの考えをまとめておくこと(1.5時間)						
課題に対する フィードバック	毎回の提出課題(発表資料など)は、授業時間に評価・解説を行う。	評価方法	発表やレポートの質、議論への参加の程度から総合的に判断する。 ①発表、レポート：80% ②議論への参加：20%				
テキスト	小塩真司・宅 香菜子(著)『心理学の卒業研究ワークブック—発想から論文完成までの10ステージ—』金子書房						
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介する						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科	実務経験 教員担当	
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			アクティブ ラーニング	○	学位授与の方針 との関連	DP1(2)、2(1)、3(4)(5)
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	藤本 朋美			学位授与の方針 との関連	DP1(2)、2(1)、3(4)(5)		
授業概要	この授業の目的は、大学での学びの総括として、自ら研究課題を設定し、卒業論文としてまとめることです。 ①これまで学んできた専門的知識やボランティア活動等で得た経験をもとに、特に幼児や児童のことばや文字、伝え合うこと等にかかわる研究テーマを設定し、②先行研究の収集・整理と分析、③調査・分析等を通して、その成果を卒業論文として執筆します。						
関連する科目	事前に「子ども教育専門ゼミⅠ」を受講しておくこと。 同時に「子ども教育専門ゼミⅡ」を受講すること。						
授業の進め方と方法	この授業は、演習形式で行います。 必要に応じて、個別指導と集団指導を行います。 10月 卒業研究中間報告会、1月 卒業研究論文提出、2月 卒業研究審査会を行います。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 課題の確認 3. 研究のテーマ設定 ①自身を客観視する 4. 研究のテーマ設定 ②テーマの焦点化 5. 論文執筆のルール 6. 先行研究の整理、資料収集について 7. 研究計画作成 ①計画についての意見交換 8. 研究計画作成 ②計画の再設計 9. 先行研究の整理 ①文献の読み込み、情報収集 10. 先行研究の整理 ②批判的検討 11. 個別指導(論文執筆)①論文の構造を知る 12. 個別指導(論文執筆)②主題文の作成 13. 個別指導(論文執筆)③アウトラインの作成 14. 個別指導(論文執筆)④題名(仮)の設定 15. 個別指導(論文執筆)⑤アウトラインと題名(仮)の整合性 16. 研究計画の修正と検討 ①計画についての意見交換 17. 研究計画の修正と検討 ②計画の再設計 18. 中間報告 ①進捗状況の確認 19. 中間報告 ②進捗状況の報告 20. 研究計画の修正と検討 ③計画の再々設計 21. 個別指導(論文執筆)⑥定型表現を用いた執筆 22. 個別指導(論文執筆)⑦論理の階層構造 23. 個別指導(論文執筆)⑧研究の意義と位置づけ 24. 個別指導(論文執筆)⑨キーワードとの整合性 25. ゼミ内発表 ①意見交換 26. ゼミ内発表 ②論文の再検討 27. プレゼンテーションの作成 ①意見交換 28. プレゼンテーションの作成 ②再検討 29. プレゼンテーションの作成 ③報告練習 30. 卒業論文の提出及びプレゼンテーション 						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自身の研究テーマについて、広げては絞り込むという思考の往復運動を繰り返すことができる。 2. 体系的でまとまった情報を収集することができる。 3. 論文の構造を知り、組み立てることができる。 						
授業時間外の学修	授業前には、自身のテーマについて関連情報を収集しまとめ、自身の主張を資料にまとめてください。 授業後は、授業内での検討を振り返り、要点を整理し、論文執筆を進めてください。						
課題に対する フィードバック	毎回のレジュメについては、授業時に評価、コメントします。	評価方法			卒業研究への取り組み 50点 卒業研究論文 50点		
テキスト	井下千以子『思考を鍛えるレポート・論文作成法 第2版』慶応義塾大学出版会、2013年。(1,200円+税)						
参考書	必要に応じて図書、資料を紹介しします。						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○	
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	野村 宗嗣			学位授与の方針 との関連			
授業概要	研究テーマに添って、先行研究やケースによる具体的なデータから、分析と考察を行い、卒業研究としてまとめ、発表する。						
関連する科目	子ども教育専門ゼミⅠ 子ども教育専門ゼミⅡ						
授業の進め方と方法	研究テーマ設定に従い、事例をもとに研究をすすめる。内容の検討にあたっては、関係する先行研究及び文献を参考にしながら、検討を進める。						
授業計画	第1回:研究テーマの設定(1) 第2回:研究テーマの設定(2) 第3回:課題の明確化 第4回:論文の構成 第5回:先行研究の読み方 第6回:先行研究の引用 第7回:研究方法 第8回:研究計画の作成(1) 第9回:研究計画の作成(2) 第10回:研究計画の作成(3) 第11回:事例収集と分析(1) 第12回:事例収集と分析(2) 第13回:事例収集と分析(3) 第14回:事例研究の報告と討論 第15回:研究計画の修正と検討 第17回:研究の実施(1) 第18回:研究の実施(2) 第19回:研究の実施(3) 第20回:研究の実施(4) 第21回:中間発表と討論 第22回:個別指導(1) 第23回:個別指導(2) 第24回:個別指導(3) 第25回:個別指導(4) 第26回:個別指導(5) 第27回:個別指導(6) 第28回:ゼミ内での報告 第29回:プレゼンテーションの作成 第30回:論文提出・プレゼンテーション						
授業の到達目標	研究課題について先行研究を踏まえながら、具体的なケースを引用し、研究論文としてまとめる。 4年間の学びの集大成として、自らの興味・関心に沿って設定した研究テーマにて、研究を進める。研究に取り組む過程で、特別支援教育に関する諸問題について理解を深めるとともに、考察を行う力量を養う。						
授業時間外の学修	研究課題について先行研究を踏まえながら、具体的なケースをもとに、研究論文としてまとめる。 授業時間外も含め、資料収集や論文作成を行う。						
課題に対する フィードバック	課題に対する自分なりの見解や疑問点等を整理し、ゼミ内での意見交換や討論を通して、課題解決のための手順理解や論点整理を行う。	評価方法			論文の内容とプレゼンテーションから、総合的に評価する。		
テキスト	なし						
参考書	適宜、紹介する。						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○	
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	山田 裕司			学位授与の方針との関連			
授業概要	<p>これまで学んできた教育学の専門的知識及び、子どもたちとの関わりを通して身につけ、感じたことを基に、教育学の知識をより深く学ぶ。特に、子どもと社会の関係や、教育的行為の成果の点検・評価に着目する。</p> <p>卒業研究は、「子ども教育専門ゼミⅡ」にて取り組んだこと(自分の関心ある教育学のテーマの絞り込み、各種資料や文献、先行研究の分析、調査研究)をまとめて、卒業論文を作成する。個別指導と集団指導を交互に行い、プレゼンテーション能力や質問力などを身につける。</p>						
関連する科目	子ども教育入門ゼミ、子ども教育プレゼミ、子ども教育専門ゼミⅠ、子ども教育専門ゼミⅡ						
授業の進め方と方法	基本的には個別指導と全体指導を交互に行います。事前に調査研究してきた内容を基に指導・助言を行い、研究成果の完成を目指します。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. (集団) 関心テーマの設定及び今後の論文執筆スケジュールの確認 2. (集団) 関心テーマの報告 3. (個別) 関心テーマに基づいた資料の紹介(1) 先行研究 4. (個別) 関心テーマに基づいた資料の紹介(2) 各種統計資料 5. (個別) 関心テーマに基づいた資料の紹介(3) 各種答申 6. (集団) 関心テーマに基づいた資料の紹介(1) 資料の探し方 7. (集団) 関心テーマに基づいた資料の紹介(2) 資料のまとめ方 6. (個別) 関心テーマに基づいた先行研究の分析(1) 教育学的視点から 7. (個別) 関心テーマに基づいた先行研究の分析(2) 社会学的視点から 8. (個別) 関心テーマに基づいた先行研究の分析(3) 政策科学的視点から 9. (集団) 関心テーマに基づいた先行研究の紹介(1) 先行研究の探し方 10. (集団) 関心テーマに基づいた先行研究の紹介(2) 先行研究のまとめ方 11. (個別) 関心テーマに基づいた調査研究(1) 調査企画 12. (個別) 関心テーマに基づいた調査研究(2) 調査の実施 13. (個別) 関心テーマに基づいた調査研究(3) 調査結果の分析 14. (個別) 関心テーマに基づいた調査研究(4) 調査研究結果の概要報告 15. (集団) 関心テーマに基づいた調査研究(1) 結果の分析方法 16. (集団) 関心テーマに基づいた調査研究(2) 結果の読み方 17. (集団) 関心テーマに基づいた調査研究(3) 調査研究結果の報告 18. (個別) 先行研究の分析結果のまとめ 19. (個別) 各種統計資料の分析結果のまとめ 20. (個別) 調査研究の分析結果のまとめ 21. (個別) 論文執筆—論文構成の検討 22. (個別) 論文執筆—先行研究 23. (個別) 論文執筆—課題の設定 24. (集団) 論文執筆—進捗報告 25. (個別) 論文執筆—調査研究の手法 26. (個別) 論文執筆—調査研究の分析 27. (個別) 論文執筆—まとめ 28. (集団) 論文執筆—進捗報告 29. (個別) 論文執筆—修正 30. (個別) 論文執筆—最終確認 						
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育学・社会科学的視点から調査研究を行うことができるスキルを身につける。 2. 自ら設定した課題を解決するためのプロセスを明確にし、実行することができるスキルを身につける。 3. 先行研究、各種統計資料等を分析し、第三者に分かりやすく説明することができるスキルを身につける。 						
授業時間外の学修	卒業研究の執筆 先行研究、各種統計資料、文献の要約の作成 調査研究の実施 ゼミ中のコメントへの回答作成						
課題に対するフィードバック	研究成果に対して、適時指導・助言する。	評価方法			以下の項目に基づいて評価します。 1) 学習意欲(授業中) - 20点、 2) 卒業論文作成 - 80点		
テキスト	必要に応じて指示します。						
参考書	必要に応じて指示します。						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○	
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	趙 雪梅			学位授与の方針との関連			
授業概要	<p>大学教育の総まとめとして、学生は専門の学問分野に応じた研究課題を設定し、卒業論文としてまとめていく。各学生の問題関心を学問的な問題意識へと発展させていくよう指導するとともに、文献や資料の紹介、解説の仕方、論文の書き方など技術的な面も指導しながら卒業研究の完成へと導いていく。</p>						
関連する科目	子ども教育専門ゼミⅠを事前に、子ども教育専門ゼミⅡを同時期に受講しておくことが望ましい。						
授業の進め方と方法	共同研究を主とし、文献調査や教材作成などの手法を使って、研究を展開する						
授業計画	<p>第1回:オリエンテーション 第2回:各自の問題意識の確認と卒業研究の進め方 第3回:卒業研究のテーマ設定(1) 第4回:卒業研究のテーマ設定(2) 第5回:各自の論文テーマに沿っての研究計画作成(1) 第6回:各自の論文テーマに沿っての研究計画作成(2) 第7回:個別指導(1)(先行研究レビュー、資料収集、資料分析等について) 第8回:個別指導(2) 第9回:個別指導(3) 第10回:個別指導(4) 第11回:個別指導(5) 第12回:個別指導(6) 第13回:個別指導(7) 第14回:個別指導(8) 第15回:中間報告会(1) 第16回:中間報告会(2) 第17回:中間報告会での意見を踏まえ、研究計画の修正 第18回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(1) 第19回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(2) 第20回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(3) 第21回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(4) 第22回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(5) 第23回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(6) 第24回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(7) 第25回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(8) 第26回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(9) 第27回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(10) 第28回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(11) 第29回:卒業論文発表会(1) 第30回:卒業論文発表会(2)</p>						
授業の到達目標	<p>1. 4年間の学習の集大成として、自らの関心に沿って設定した研究テーマについて卒業研究を完成させる。 2. 卒業論文に取り組む過程で、子どもの教育にまつわる諸問題について考察を深め、教員としての専門性を充実する。</p>						
授業時間外の学修	研究テーマに関する課題について調べて、資料を集めて授業に臨む。授業後は、自己の学び・考え・リフレクションをレポートにまとめる。						
課題に対するフィードバック	段階的な報告を評価し、アドバイスする			評価方法	卒論への取り組み、論文内容により総合的に評価する。		
テキスト	なし						
参考書	卒業論文作成にあたっては、各自文献を収集する必要がある。						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科	実務経験 教員担当	
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			アクティブ ラーニング	○		
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	金子 幸			学位授与の方針 との関連	DP2(1),2(2),3(4),3(5)		
授業概要	<p>本授業の目的は、大学での学びの総括として、各自の関心に沿った研究テーマを設定し、卒業論文としてまとめ、発表することです。 そのために授業では、各自の研究テーマに沿った課題に取り組み、個別指導を受けながら卒業研究の完成を目指していきます。</p>						
関連する科目	「子ども教育専門ゼミⅠ」を事前に履修しておくこと。また、同時に「子ども教育専門ゼミⅡ」を履修すること。						
授業の進め方と方法	<p>毎回の授業にて、演習形式の授業を展開します。1回の授業の構成は以下の通りです。各自で取り組んだ課題について説明し、説明内容に対する質疑に対して答えていきます。その中で、教員からのアドバイスを受け、最後に次回の課題を各自で設定します。</p>						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーションー子ども教育専門ゼミⅠおよびⅡの振り返り これまでの専門ゼミの内容を確認し、課題に対する取り組み方について学びます。 2.各自の問題意識の確認と課題設定 各自の研究テーマの最終確認を行います。 3.研究の進め方 これからの研究の進め方について学びます。 4.論文の書き方 論文の書き方を再度確認します。 5.研究テーマに沿った研究計画書の作成 各自の研究テーマに沿った研究計画書を作成し、報告します。 6.研究テーマに沿った研究計画の決定 各自の研究計画書を完成させます。 7～14.個別指導 各自の研究計画に沿った個別指導を受けます。 15.中間報告 中間報告会に向けて準備を行い、中間報告会に参加します。 16.研究計画の修正 中間報告会を振り返り、今後の研究計画を再考します。 17.研究の進捗状況の確認 各自の研究の進捗状況を報告します。 18～25.論文作成(個別指導) これまでに収集した資料を基に、研究を進め、個別指導を受けます。 26.プレゼンテーション準備 卒業審査会に向けて準備を行います。 27.プレゼンテーション練習 卒業研究審査会のプレゼン練習を行います。 28.プレゼンテーション内容確定 プレゼンの練習を振り返り、卒業審査会のプレゼン内容を確定します。 29.卒業研究審査会 卒業審査会に参加をします。 30.最終提出に向けての確認 卒業審査会を振り返り、最終提出に向けて内容を修正し、卒業研究を完成させます。 						
授業の到達目標	1.4年間の学習の総まとめとして、各自の関心に沿った研究テーマの卒業論文を完成させる						
授業時間外の学修	各自の課題に沿った文献・資料を収集することを予習とします。 毎回の指導内容を整理し、必要な文献・資料を新たに収集することを復習とします。						
課題に対する フィードバック	毎回の課題は、コメントを付けて返却します。 また、審査会にて副査の教員からの評価を伝えます。	評価方法			以下の項目を基に評価します。 1)研究への取り組み 60点 2)卒業論文の内容 40点		
テキスト	使用しません。						
参考書	必要に応じて適宜紹介します。						
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	酒井 喜八郎			学位授与の方針 との関連			
授業概要	社会科教育、教育方法学、海外カリキュラム研究などの中から関心のあるテーマを各自選択し、4年間の大学生活の学習のまとめとして卒業論文を執筆する。						
関連する科目	教科教育法(社会)、社会						
授業の進め方と方法	授業概要に示したとおり、卒業論文の完成に向けて、卒業論文テーマの設定、章立て、先行研究の整理、分析フレームワークづくり、中間報告、論文執筆、最終報告、の流れで進める。受講生には、毎回の課題レポート発表が課される。(ただし、論文のテーマによっては、研究方法が異なるので随時指導する。)						
授業計画	第1回 オリエンテーション 第2回 仮テーマの設定 第3回～第6回 先行研究論文の購読と整理 第7回～9回 章立てと分析フレームワークづくり 第10回～第11回 授業モデルの完成 第12回～15回 卒業論文執筆、添削、完成まで指導 (ただし、論文のテーマによっては、研究方法が異なるので随時指導する。例えば授業研究の場合は、授業プロトコル分析が主となる。)						
授業の到達目標	1 4年間のまとめとして自分のテーマを決め卒業論文にまとめることができる。 2 自分なりのテーマを探究することができるようにする。 3 ゼミで地域連携できるような活動を企画、実行できるようにする。						
授業時間外の学修	・個人レポート課題の準備 ・グループレポート課題の準備 ・教員採用試験や公務員試験の過去問の課題						
課題に対する フィードバック	・卒業論文の中間報告会、最終報告会を実施。	評価方法			・毎回のゼミへの取り組み・意欲態度、中間報告、最終報告、卒業論文を総合的に評価する。		
テキスト	・岩田一彦(2001)『社会科授業の設計』明治図書 ・的場正美(1999)『授業分析の方法』黎明書房。 ・白井利明他(2013)『卒業論文の書き方』ミネルヴァ書房						
参考書	・講義の中で社会科教育関係や教育方法学関係の資料や論文を適宜紹介し、アサインメントを出す。						
備考	・各受講生の意欲的・主体的なテーマ設定と取り組みを期待します。						

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当		アクティブ ラーニング	
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	瀬戸口 裕二			学位授与の方針 との関連			
授業概要	自らが問題意識を持つ課題について、科学的な知識や論拠を明らかにしながら仮説を立て、多様で多角的なエビデンスを明示しながら検証していく手続きを、計画的、長期的に踏む経験を積むことが重要である。ここでは、ゼミ形式で相互に報告したり協議したり評価し合ったりすることを通して論文作成を展開する。						
関連する科目							
授業の進め方と方法							
授業計画	第 1回:オリエンテーション 第 2回:各自の問題意識の確認と卒業研究の進め方 第 3回:卒業研究のテーマ設定(1) 第 4回:卒業研究のテーマ設定(2) 第 5回:各自の論文テーマに沿っての研究計画作成(1) 第 6回:各自の論文テーマに沿っての研究計画作成(2) 第 7回:個別指導(1)(先行研究レビュー、資料収集、資料分析等について) 第 8回:個別指導(2) 第 9回:個別指導(3) 第10回:個別指導(4) 第11回:個別指導(5) 第12回:個別指導(6) 第13回:個別指導(7) 第14回:個別指導(8) 第15回:中間報告会(1) 第16回:中間報告会(2) 第17回:中間報告会での意見を踏まえ、研究計画の修正 第18回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(1) 第19回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(2) 第20回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(3) 第21回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(4) 第22回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(5) 第23回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(6) 第24回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(7) 第25回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(8) 第26回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(9) 第27回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(10) 第28回:論文作成と進捗状況についての報告および修正(11) 第29回:卒業論文発表会(1)、第30回:卒業論文発表会(2)						
授業の到達目標	1. 4年間の学習の集大成として、自らの関心に沿って設定した研究テーマについて卒業論文を完成させる。 2. 卒業論文に取り組む過程で、特別支援教育にかかわる諸問題について考察を深める。						
授業時間外の学修	毎回の講義終了時に設定した、課題をやりきり、次回講義までには提出する。課題については担当教員に随時相談すること。						
課題に対する フィードバック				評価方法	卒論への取り組み、論文内容により総合的に評価する。		
テキスト	特に使用しない。						
参考書							
備考							

Minami Kyushu University Syllabus							
シラバス年度	2021	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	子ども教育学科		
科目名称 [英語名称]	卒業研究 [Graduation Study]			実務経験 教員担当	アクティブ ラーニング	○	
科目コード	300010	授業形態	演習	単位数	4	配当学年	4年次
教員氏名	田中 直美			学位授与の方針 との関連			
授業概要	①自らが問題意識を持つ課題について、人間形成論に関わるテキストを読み、その内容を理解する方法を身につける。 ②テキストから読み取られた内容を自分なりに整理し、それに対する自分の考えを表明し、論文としてまとめる。						
関連する科目	「子ども教育専門ゼミⅠ・Ⅱ」						
授業の進め方と方法	①リサーチ・クエスチョンを明らかにする。 ②テキストに書かれた内容を正確に理解し、自身の研究内容を著者の見解と比較・検討する。 ③受講者同士による質疑応答を絶えず繰り返しながら論文を作成する。						
授業計画	第1回:オリエンテーション 第2回:各自の問題意識の確認と卒業研究の進め方 第3回:リサーチ・クエスチョンの設定(1) 第4回:リサーチ・クエスチョンの設定(2) 第5回:リサーチ・クエスチョンの設定(3) 第6回:先行研究レビュー(1) 第7回:先行研究レビュー(2) 第8回:章立て(1) 第9回:章立て(2) 第10回:各章の概略発表(1) 第11回:各章の概略発表(2) 第12回:各章の概略発表(3) 第13回:各節の概略発表(1) 第14回:各節の概略発表(2) 第15回:各節の概略発表(3) 第16回:章立ての見直し(1) 第17回:章立ての見直し(2) 第18回:論文作成(1) 第19回:論文作成(2) 第20回:論文作成(3) 第21回:論文作成(4) 第22回:論文作成(5) 第23回:各章の検討(1) 第24回:各章の検討(2) 第25回:各章の検討(3) 第26回:各章の検討(4) 第27回:各章の検討(5) 第28回:論文の体裁を整える 第29回:卒業論文発表会(1) 第30回:卒業論文発表会(2)						
授業の到達目標	1. 4年間の学修の集大成として、みずからの関心から設定した研究テーマについて卒業論文を完成させる。 2. 卒業論文に取り組む過程で、思想書を読解する力を養う。						
授業時間外の学修	授業時間で検討するレジュメを毎回準備しておくこと。 つねにテキストを読み、どういったことが書いてあるのかを理解しようとする。						
課題に対する フィードバック	毎回の授業でコメントする	評価方法			①毎回のゼミへの取り組み ②卒業論文発表会での発表 ③卒業論文の内容 を総合的に評価する。		
テキスト	なし						
参考書	それぞれのテーマにあわせて適宜紹介します。						
備考							